

2 地域戦略の取組方向

～道と179市町村のスクラムをより一層強化～

◎ 日高地域

◆「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大

- ・「春立プリ・三石プリ」や「えりも短角牛」など、「ひだか」製品の知名度向上及び販路拡大を図るためのテスト販売及び大都市圏の居酒屋との共同企画などの実施
- ・門別競馬場や道外競馬場での北海道ひだかPRによる地域誘引、ホッカイドウ競馬の知名度向上を図るため、馬産地や馬の魅力と合わせた北海道ひだか地域産業の情報提供 等

◆「ひだか」の産業を支える人材確保・育成

- ・高校卒業後の地元就業の促進のため、高校1・2年生を対象とした地元産業や企業を知ってもらうフェアを新型コロナの状況を見極めて開催
- ・管内で働く人の仕事場や日高地方ならではの暮らしぶりの動画をSNSと連動させた知名度向上等を図るほか、仕事のやりがいや暮らしぶりを一元的に発信するポータルサイトを作成 等

◆「ひだか」の魅力発信と観光の振興

- ・とち帯広空港と連携した誘客プロモーション、ウポポイ周辺にて開催予定のイベントでのPR出展、東京23区との連携によるPR活動の開催などを新型コロナの状況を見極めて実施
- ・日高山脈襟裳国定公園の環境保全やアポイ岳ジオパークの利活用の促進に向けた自然環境マップの作成 等

◎ 檜山地域

◆農林水産業の振興と担い手対策の推進

- ・スギの地域利用拡大のため、新型コロナの状況を見極めてイベント等による一般消費者向けPR及び建築関係者向け建材・建具のPRの実施
- ・スマート農業の実証試験・効果検証・普及促進、新規就業者確保に向けたインターンシップや仕事説明会の実施 等

◆安全で快適に暮らすことのできる地域社会の形成

- ・看護師確保・定着に向けた「めざせ看護師！檜山塾」の実施
- ・「ひやまSHOWがウィーク」の開催（障がい者就労支援事業所の展示・販売、パネル展示など） 等

◆歴史・文化・食・自然を活かした交流人口の拡大

- ・新型コロナの状況を見極めて食と観光に関する人材育成や魅力発信を行うための人材育成研修などの開催
- ・管内各町と連携し、檜山地域が一体となった物産・観光プロモーションの新型コロナの状況を見極めて実施や、「ひやまの観光をみんなで考える会」の実施
- ・檜山を想う人々が集う交流会と地域リーダー育成セミナー開催、管内の地域おこし協力隊が集う研修会の開催 等

◎ 渡島地域

◆北海道新幹線札幌延伸による交流人口拡大を見据えた受入環境整備

- ・来道者増加へ向けた北海道新幹線の認知度向上、青函エリアの観光PRや誘客促進のため、JR及び青森県等と連携した広域観光キャンペーンの実施
- ・新型コロナの克服を目指す渡島地域の魅力を縄文文化とともに再発信する動画コンテンツの作成、新型コロナの状況を見極めて地域住民等を対象としたパネル展や出前講座の実施 等

◆渡島の魅力を活かした定住環境づくりと関係人口創出の推進

- ・管内市町と連携した移住の取組促進やSNSを活用したフォトコンテストの開催など、道内外に広く地域の魅力を発信し、管内への移住・定住者の増加と若者の地元定着を促進
- ・地域おこし協力隊が任期後も地域に定住することができるよう、起業や就業に関する研修会を開催 等

◆渡島を支える農林水産業の振興と6次産業化への取組強化

- ・道南スギをはじめとする地域材のブランド化、付加価値向上を目指し、商業施設等と連携したPRや有識者による検討委員会の開催
- ・6次産業化及び高付加価値化に取り組む先進事例の調査や、農業をはじめとする一次産業への就業者確保対策として「道南お仕事フェア」を新型コロナの感染防止措置を取りながら開催 等

◎ 上川地域

◆天塩川や大雪山など魅力ある地域資源を活かした上川地域への来訪促進

- ・天塩川愛を醸成するため、ゆかりのある松浦武四郎に関する絵本等を制作
- ・新型コロナウィルスにより道外などの観光客を誘客しにくい状況の中、感染が少ない道北エリアでの近隣観光を積極化するためのPR、個人型モニターツアーを実施
- ・新型コロナウィルスにより各種スポーツ大会等が中止となる中、スポーツの力で地域活性化を図る管内プロスポーツチーム応援キャンペーンなどの実施 等

◆米や野菜、森林など地域の強みを活かした農林業の振興

- ・振興局web「かみかわ食べものがたり」やfacebook等の更なる記事の充実や、新型コロナの状況を見極めて各種イベントへの参加による上川産食材のPR
- ・上川管内事業体に対するSGEC-CoC認証（持続可能な森林経営を認証）の取得促進や、旭川家具などの魅力を学ぶ『木のまち旭川エリア「未来づくり感響プロジェクト」』の実施 等

◆人口減少社会を見据えた地域産業の担い手・後継者の確保・育成

- ・業界・企業・行政が連携して人材確保に必要な支援及び検討を行う「上川地域人材確保地域連携会議」の開催、高校生を対象にしたインターンシップ導入に向けた仕組みづくり
- ・農業高校生等を対象とした農業や林業の体験学習や先進的農家の視察などを新型コロナの状況を見極めて実施 等

2 地域戦略の取組方向

～道と179市町村のスクラムをより一層強化～

◎ 留萌地域

◆ 南北で異なる自然条件に応じて展開される多彩な農林水産業の振興

- 生産性向上に向けたほ場の透排水性改善の実証、販路拡大に向けたルルロンPR資材作成・配布、さくらんぼ収穫体験ツアーや花きのフラワーウォークの取組、モデル地域における新規就農者対策を推進
- 地域が一体となってカレイの消費拡大を図るため、カレイのブランド化の検討、販売促進や新たなカレイ料理のレシピ作成など認知度向上の取組 等

◆ るもいが持つ「食」「観光」のポテンシャルを活かした交流人口・関係人口の拡大

- 食資源と特産品の消費拡大のため、どさんこプラザ札幌店での北海道スタイルに基づいたイベント（11月予定）や、事業者の通販サイトを活用したテスト販売の実施
- 「深川・留萌自動車道全線開通記念スタンプラリー」の実施 等

◆ 将来にわたって留萌に住み続けてもらうための暮らし・人づくり

- 留萌地域PRパンフレット（英語/ベトナム語版）、PR動画（ベトナム語対応）の作成、留萌管内の課題・特徴を踏まえた外国人材誘致・活用マニュアル作成
- 新たな労働力融通システム構築に向けた課題の調査・検討、外国人材の受入環境整備に向けた先進事例共有・横展開 等

◎ オホーツク地域

◆ 国内外への販路拡大などによる農林水産業の強化

- ICTを活用した農業用機械等の導入拡大と効果的な利活用を進めるため、ICT農業の実態把握や導入効果の検証
- 首都圏及び管内道の駅等における一般消費者向けオホーツク産木製品及び地域のPR 等

◆ 豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興

- オホーツク食の地域ブランド形成ネットワーク等の活用による情報提供、新型コロナの状況を見極め道央圏及び道外でのオホーツク産品PR活動を実施 等

◆ 人口減少社会を見据えたオホーツク地域への来訪促進

- 国内外へ地域の魅力を発信するための分野別、圏域別コンテンツの整理・作成、SNSやWebサイト等を効果的に活用した情報発信の強化
- 各交通モードや民間事業者等と連携し、予約・決済サービスの拡充や利用促進を図る取組など、より利便性の高いシームレスな交通サービスの充実にに向けた取組の実施 等

◆ オホーツク地域への人口定着の推進

- 管内の高校生等若年者を対象とした地元企業展示会及び管内企業バスツアーの実施
- 職場見学や出前授業等の受入可能企業を取りまとめたリストの作成や、地域の様々な分野で活躍する人やその仕事を紹介する冊子等の作成 等

◎ 宗谷地域

◆ 地域の強みを活かした産業の強化と担い手確保の推進

- 日本海地域における新規漁業就業者を確保し、漁業生産活動を安定的に継続させるため、首都圏でのU・Iターン希望者などを対象に、漁業の魅力や就業環境などのPRを実施
- 農業分野への就職を目指す農業系大学生等を対象に、管内への誘致に向けたPR内容をまとめた動画を作成して大学に送付 等

◆ 離島などの雄大な自然や地域の特色を活かした観光・食産業・交流の強化

- 「宗谷のシヨク」の道内外への販路拡大を図るため、管内の関係機関が一体となって食のブランド化や高付加価値化を推進するとともに「地域の稼ぐ力」の向上
- 新型コロナウイルスの影響により利用者が大きく落ち込んでいる公共交通の利用促進のため、鉄道及びバスの乗車体験会を開催するとともに、動画による地域の魅力発信の実施 等

◆ 人のつながりの深化など活気あふれるネットワークの構築による地域活力の向上

- 新型コロナの状況を見極め若者を対象とした「SOYA fresh☆network」に係る研修会等を通じ、地域の将来を担う若手世代の資質向上や、若者が活躍できる環境を整備
- 管内市町村と協働で動画コンテンツを制作するなど、地域が一体となった情報発信を行うことにより、「宗谷」の一層の認知度向上と地域の魅力の再発見を促進し、郷土愛を醸成 等

◎ 十勝地域

◆ 「食の拠点」の機能強化による地域産業の振興

- 十勝産原材料を活用した食品である「十勝ブランド登録品」の普及支援、どさんこプラザ札幌店で十勝産品を集めたフェアの開催 等

◆ 滞在型・周遊観光の推進

- 十勝の魅力発信・観光資源のPRキャンペーンを管内及び道内を対象として実施
- 管外からの観光客を対象に十勝管内のバスが乗り放題になるチケット「VISIT TOKACHI PASS」を発売 等

◆ 近未来技術の実用化及び先進分野の産業振興による地域活性化

- 十勝の航空宇宙関連ビジネスの他産業への波及を促す取組等の実施
- 「バイオガスプラント」をエネルギー化する際に発生する「消化液（Digestive Juice）」の畑作農地へ還元方法等を調査・検討し、効果的な利用の推進 等

◆ 多様な人材が活躍できる環境づくりと地域を支える人づくり

- 「北海道スタイル」に沿った形で地域住民の生活を変革、一次産品の消費拡大や公共交通利用による管内活性化などの施策を展開
- 流出傾向にある若手女性等を中心としたWGを設置し、まちづくりに向けたニーズ把握など魅力創出に向けた取組を新型コロナの状況を見極めた上で実施 等

2 地域戦略の取組方向

～道と179市町村のスクラムをより一層強化～

◎ 釧路地域

- ◆「根釧酪農ビジョン」の推進など一次産業の生産力強化・付加価値の向上
 - ・食のブランディング戦略の策定・推進に向けたニーズ調査やコロナ対策で経済関係団体と構築した食関連事業者等通販ポータルサイトの利用によるくしろ製品の販売機会の創出・販売促進・PR等の実施
 - ・新型コロナウイルスの影響で消費の落ち込んだ釧路産乳製品の消費拡大促進のため、管内飲食店と連携したレシピの開発、PR活動 等
- ◆様々なコンテンツの磨き上げによる誘客促進や、関係人口の拡大に向けた取組
 - ・管内市町村及び東京都荒川区と連携して、新型コロナの状況を見極めインフルエンサー招聘による情報発信や、くしろ地域産食材を活用した都内飲食店との連携事業などの実施
 - ・「ウェルカム道東道!!オールくしろ魅力発信協議会」を母体として、道東自動車道の釧路延伸を契機とした道内外へのプロモーションを実施 等
- ◆安心して豊かに暮らすことができる、地域内連携強化によるくしろ型地域創生の推進
 - ・地域の新たな価値の創造や地域で活躍する人材の育成・発掘するため、受講者間の交流を中心としたセミナーや大学生対象の地域課題解決をテーマとした出前講座を実施
 - ・移住希望者に向けたオンラインでの情報発信、移住希望者のニーズに対応できるWEBサイトの構築 等

◎ 根室地域

- ◆若者、女性、高齢者など多様な人材の活躍等による少子高齢社会への対応
 - ・地域の実情に応じた子育て環境のニーズ把握及び課題共有を図るため、多様な主体が連携する子育て支援ネットワークを各市町単位に構築 等
- ◆我が国最大の草資源を活かした酪農や豊かな漁業資源を有する水産業の振興
 - ・優良草地確保に資する優良事例地域等の設定、ICT草地管理講習会の開催、省力化技術の優良事例の地域及び生産者の選定
 - ・根室産マイワシ「根室七星」の業者向けサンプル加工品の開発、改良、製品化、管内漁協女性部や漁業士のお料理教室における根室七星料理のPR
 - ・根釧独自就農フェア、家族向け酪農体験ツアーの開催、農業者と連携した農業系学校への就農促進活動、先進地視察 等
- ◆知床をはじめ地域の魅力を活かした取組や交流・関係人口の創出・拡大
 - ・withコロナ時代のドライブ観光を提案し、フットパス等を柱としたドライブ観光を促進するためのパンフレットの作成、GoToキャンペーン事業と連動した地域全体の消費を促す事業の実施
 - ・道の駅との連携や清掃活動など「知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ」のルート指定に向けた取組 等

3 市町村戦略支援

～ 道と市町村の強固なスクラムのもと効果的な総合戦略の推進 ～

- 第2期北海道創生総合戦略において、新たに「市町村戦略支援」を章立て
- 「財政的支援」・「情報支援」・「人的支援」の3つの支援の方向性により、市町村の創意工夫を活かした取組を支援
- 地域課題の解決に当たり、民間が有するノウハウの活用が求められる場合は、「ほっかいどう応援団会議」などを通じて支援

2020年度の推進方向

各市町村が切れ目なく総合戦略を推進できるよう支援

【財政的支援】

● 地域づくり総合交付金

<予算額の推移>

地域課題の解決や地域活性化を目的に取り組む市町村等の事業を支援

R2年度	45.5億円
R元年度	45.5億円
H30年度	45.5億円
H29年度	45.0億円

● 地域政策推進事業

振興局が地域と連携・協働のもと、政策形成段階から事業展開まで一貫して地域に根ざした政策を推進

● 国の地方創生関係交付金や

地方創生応援税制の活用に向けた相談対応

- 国の地方創生関係交付金の採択率向上をめざし、交付金申請を支援
- 国の説明会等にあわせ、道職員が市町村を訪問し、交付金の活用等に関する相談会を実施
- 「企業版ふるさと納税推進リーダー」として道職員を登録し、市町村からの相談に個別に対応するとともに、必要に応じ国との調整を実施

【情報支援】

● 市町村の課題把握と情報共有

戦略推進上の課題等把握のための調査を実施し、結果を共有

● 先行事例等の普及

- 先進的、特徴的な取組を道のホームページに掲載し情報共有
- 北海道創生ジャーナル「創る」の発行・サイト掲載による先進事例の横展開



道内各地域の先駆的プロジェクト等を紹介。電子書籍化して全国にも発信。

- 先進事例を紹介する市町村向け勉強会の開催
- 市町村の取組に資する情報の提供
 - 地域創生に資する道の取組に関する情報を積極的に提供
 - 「RESAS」を活用した地域分析等の支援

【人的支援】

● 地域振興派遣などの職員派遣

- 広域性やモデル性の高い取組等を推進する市町村に対し、「地域創生枠」として、振興局長の裁量により道職員を派遣

<派遣者数>

R2年度	33人
R元年度	38人
H30年度	38人
H29年度	39人

<派遣先での主な業務>

- 官民連携を活用した道の駅再編整備に係る検討
- 和牛の生産基盤強化に向けた施設整備計画の策定
- 余剰天然ガスを活用した経済・エネルギーの地域循環の推進 など
- 道職員が短期的に地域に出向き地域振興の取組を支援する「北海道創生出張サポート制度」の実施

● 市町村プロジェクトの企業等マッチング支援

「ほっかいどう応援団会議」のスキームを活用しながら、市町村の地域創生プロジェクトと道内外の民間企業とのマッチングを総合的に支援